

## 人間科学研究科教授会議事要旨

日	時	2023年10月26日(木) 13:44~15:24
場	所	ユメヌホール(207講義室)
出席者		渥美研究科長 青野、足立、荒牧、五十嵐、稲場、エツロット、遠藤、老松、大谷、岡田、岡部、勝、鹿子木、川端、河森、吉川、木村(涼)、北山、近藤、権藤、小林、クロイドン、斉藤、佐々木、澤村、篠原、志水、白川、管生、杉田、園山、高田、玉城、辻、中井(宏)、中井(好)、中野、西森、入戸野、野坂、野尻、野村、平井、藤川、三浦、宮本、三好、村上、モハーチ、森川、森田(敦)、森田(邦)、安元、八十島、山田(一)、山田(陽)、山中、山本(倫)(計59名)
オブザーバー		なし(計0名)
欠席者		後藤、千葉、藤目(計3名)
海外渡航者等		太田、鈴木、高橋、福岡、綿村(計5名)

[議事に先立ち、前回(9月14日)の議事要旨を確認した。]

### (協議事項)

#### 1. 研究科委員会の議決事項について

本日開催の研究科委員会での議決事項について説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 2. 人間行動学講座准教授の採用について(第二回)

資料1に基づき、前回から継続審議の同講座准教授の採用について、引き続き審議を行う旨の説明があり、投票の結果、候補者の採用を承認した。

なお、2024年4月1日付採用を予定としている旨の補足説明があった。

#### 3. 教育環境学講座准教授の採用について(第二回)

資料2に基づき、前回から継続審議の同講座准教授の採用について、引き続き審議を行う旨の説明があり、投票の結果、候補者の採用を承認した。

なお、2024年4月1日付採用を予定としている旨の補足説明があった。

#### 4. グローバル共生学講座准教授の採用について(第二回)

資料3に基づき、前回から継続審議の同講座准教授の採用について、引き続き審議を行う旨の説明があり、投票の結果、候補者の採用を承認した。

なお、2024年4月1日付採用を予定としている旨の補足説明があった。

#### 5. グローバル共生学講座准教授の採用について(第二回)

資料4に基づき、前回から継続審議の同講座准教授の採用について、引き続き審議を行う旨の説明があり、投票の結果、候補者の採用を承認した。

なお、2024年4月1日付採用を予定としている旨の補足説明があった。

6. 臨床教育学講座准教授の採用について（第一回）

2023年9月14日（木）開催の研究科教授会において、学系の運営上、准教授選考を行うこと、及び選考委員会設置が承認された旨の説明があり、続いて、選考委員の主査から、本件での説明は主査のみで行いたい旨の提案があり、特に意見はなく、引き続き、資料5に基づき、候補者の選考経緯、経歴等について説明があり、審議の結果、次回（11月16日（木）開催）の研究科教授会での継続審議となった。

7. 社会環境学講座准教授（総長裁量ポスト）の採用について（第一回）

2023年9月14日（木）開催の研究科教授会において、学系の運営上、准教授選考を行うこと、及び選考委員会設置が承認された旨の説明があり、続いて、選考委員から、資料6に基づき、候補者の選考経緯、経歴等について説明があり、審議の結果、次回（11月16日（木）開催）の研究科教授会での継続審議となった。

8. 大阪大学大学院人間科学研究科テニュアトラック制度の実施に関する内規についての申合せ事項の改正について

資料7に基づき、大阪大学大学院人間科学研究科テニュアトラック制度の実施に関する内規についての申合せ事項の改正について説明があり、審議の結果、これを承認した。

9. 臨床教育学講座講師（テニュアトラック）の採用について（第一回）

2020年5月28日開催の研究科教授会において、学系の運営上、准教授（又は講師）選考を行うこと及び選考委員会（兼テニュアトラック採用選考委員会）設置が承認され、2023年6月22日（木）開催の研究科教授会において、選考委員の主査が変更された旨の説明があり、続いて、選考委員から、資料8に基づき、候補者の選考経緯、経歴等について説明があり、審議の結果、次回（11月16日（木）開催）の研究科教授会での継続審議となった。

10. 臨床教育学講座教授選考委員会の設置について

臨床教育学講座教授選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、これを承認した。

また、選考委員と本人事については、人事計画委員会との情報共有、調整を経ていることの補足説明があった。

11. 臨床教育学講座准教授（又は講師）選考委員会（兼テニュアトラック採用選考委員会）の設置について

臨床教育学講座准教授（又は講師）選考委員会（兼テニュアトラック採用選考委員会）の設置について説明があり、審議の結果、これを承認した。

また、選考委員とまた、この委員会は、人間科学研究科テニュアトラック制度の実施に関する内規 第5条第3項に定める、テニュアトラック採用選考委員会を兼ね、候補者の業績により、テニュアトラック教員として採用することがあること、および人事計画委員会との情報共有、調整を経ていることについての補足説明があった。

- 1 2. 未来共生学講座講師選考委員会（兼テニユアトラック採用選考委員会）の設置について  
未来共生学講座講師選考委員会（兼テニユアトラック採用選考委員会）の設置について説明があり、審議の結果、これを承認した。  
なお、本件の採用予定者は2名であり、選考委員とまた、この委員会は、人間科学研究科テニユアトラック制度の実施に関する内規 第5条第3項に定める、テニユアトラック採用選考委員会を兼ね、候補者の業績により、テニユアトラック教員として採用することがあること、および人事計画委員会との情報共有、調整を経ていることについての補足説明があった。
- 1 3. 研究科長選挙管理委員会及び過半数代表者選出のための教職員選出選挙管理委員会について  
資料9に基づき、2023年9月14日（木）教授会において設置が承認された研究科長選挙管理委員会の委員候補者（准教授）について、各学系から推薦があった旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。  
また、研究科長選挙委員会の構成は、「研究科長選挙申し合わせ」第6の（3）に基づき、研究科長、両副研究科長を含めた7名で、また、第6の（4）に基づく幹事と、過半数代表者選出のための教職員選出選挙管理委員会委員については、「労働者の過半数代表者を選出するための教職員選出に関する申し合わせ」第3に基づき、各学系から選ばれた4名の准教授（従来から研究科長選挙管理委員会における4名の准教授が兼ねて就任）及び事務系職員から選ばれた1名を含めた5名であること、過半数代表者選出のための教職員選出選挙は、必要となった場合、12月14日（木）実施の研究科長候補者選出選挙終了後、引き続いて行う予定である旨の補足説明があった。
- 1 4. 令和5年度学内委員の選出について（追加）  
資料10に基づき、3件の学内委員の追加選出（内諾済み）について説明があり、審議の結果、3件とも事後となるがこれを承認した。
- 1 5. その他  
なし。

（報告事項）

1. 各種委員会報告

各委員等から順番に報告

[学内関係]

- (1). 全学教育推進機構会議（9.15、10.20 澤村教授）
- (2). 国際教育交流センター教授会（9.22 大谷教授）
- (3). マルチリンガル教育連絡協議会（9.26 斉藤教授）
- (4). 国際交流委員会（9.26 大谷教授）
- (5). 学生生活委員会（9.29 臨時メール会議 岡部教授）
- (6). 入試広報小委員会（10.3 木村教授）
- (7). 吹田地区事業場安全衛生委員会（10.6 中野准教授）
- (8). 人文社会科学系戦略会議（10.11 研究科長）
- (9). 人文社会科学系オナー大学院プログラム運営委員会（10.11 研究科長）

- (10). グローバル日本語教育研究拠点運営会議 (10.11 研究科長)
- (11). 教育課程委員会 (10.13 齊藤教授) 【資料11】
- (12). 吹田地区箕面地区合同部局長会議 (10.18 メール会議 研究科長)
- (13). 医歯薬生命系戦略会議 (10.18 村上副研究科長)
- (14). 理工情報系戦略会議 (10.18 西森副研究科長)
- (15). 教育研究評議会 (10.18 西森副研究科長) 【資料12 (別途掲載)】
- (16). 部局長会議 (10.18 研究科長) 【資料13 (別途掲載)】

#### [部内関係]

- (1). 第3年次編入学試験運営委員会 (9.25 村上副研究科長)
- (2). 入試合格者判定会議 (9.29、10.2 研究科長)
- (3). 防災対策委員会 (10.5 中野准教授)
- (4). 安全衛生委員会 (10.5 中野准教授)
- (5). 大学院入試運営委員会 (10.11 研究科長)
- (6). 教務委員会 (10.19 齊藤教授) 【資料14】
- (7). 運営会議 (10.25 研究科長)
- (8). 各室等報告
  - 未来共創センター (村上副研究科長) 【資料15】

#### 2. OUMasterプラン実現加速事業 (令和6年度開始分) ヒアリング審査について

資料16に基づき、OUMasterプラン実現加速事業 (令和6年度開始分) の活性化A (事業名称:「社会学共創による Wellbeing で Inclusive なキャンパスづくりの全学展開に向けた試行」) に申請し、書面審査の結果、ヒアリング実施事業となり、令和5年10月30日 (木) にヒアリング審査が実施される旨の報告があった。

#### 3. 海外渡航について

資料17に基づき、海外渡航の届出6件について報告があった。

#### 4. 受託研究の受入れについて

資料18に基づき、受託研究の受入れ2件について報告があった。

#### 5. 受託事業 (学術相談) の受入れについて

資料19に基づき、受託事業 (学術相談) の受入れ1件について報告があった。

#### 6. その他

##### ・大阪大学賞の受賞について

本研究科から推薦することとした候補者1名 (若手教員部門) の受賞が決定したことについて報告があり、また、表彰式は11月22日 (木) にコンベンションセンターで実施される旨、併せて報告があった。

・退職後の設備及び研究費について

退職後の設備及び研究費について以下のとおり報告があった。

- ・これまで退職時に研究室の後片付けが行われていない事例があったことを踏まえ、改めて物品等の整理を行うよう注意喚起を行うこと。
- ・研究費の扱いについては、基本的に契約にもとづくものであるため、退職とともに契約は失効するので、残があれば精算してもらうことになる。適切な完了をお願いしたい。
- ・ただし、科研費については、延長や新規申請などがありうるため、本部の指針や部局のこれまでの申し合わせを踏まえて、資料20のとおり退職後の科研費の扱いについて誓約書を作成したこと。

・新インターナショナルカレッジ設置準備室について

新インターナショナルカレッジ設置準備室について、以下のとおり報告があった。

- ・現在、国際卓越研究大学の採択に向け、インターナショナルカレッジの組織改編が検討されていること。
- ・G30を担い高く評価されてきた部局として準備を進めることにしたこと。具体的には、人科内に新インターナショナルカレッジ準備室(仮称)を設置すること。
- ・G30の実績を踏まえ、組織強化のため準備室には教員2名配置することを考えていること。
- ・それに伴い総長裁量ポストとしてインターナショナルカレッジに准教授ポスト1を配置することが決まったこと。
- ・共生学系の1ポストを同室に時限的に移行すること(本部がもう1名ポスト措置まで)。本件は人計画委員会でも承諾されていること。

なお、人科英語コースの体制(特任教員除く)は、インターナショナルカレッジ 准教授1名、人科新インターナショナルカレッジ設置準備室(仮称) 准教授1名となる旨の補足があった。

・親交会からの報告

親交会からの報告として、会費の徴収と12月の教授会後に開催の忘年会についてアナウンスがあった。

以 上